

寝屋川ラグビースクール保護者の皆様へ-1

1. まず、「楽しむ！」子供達がラグビーを楽しむ環境を作らなければなりません。その一つとして、プレー中のミスに対し、必要以上に「叱ったり」「怒鳴りつける」コーチングは基本的に行いません。

「褒めて、褒めて、褒めて伸ばす！」これが基本です。

ただし、コーチが話している際のおしゃべりや小競り合い・不適切な言動・フェアでないプレー等には厳しく指導します。

また、試合中や練習中に自分の子供に対して、「褒める言葉」「励ます言葉」「勇気付ける言葉」以外の「叱ったり」「怒鳴りつける」等の言葉をかけないで下さい。子供達にとって日頃聞き慣れた親御さんの声は耳に入りやすく、意欲を失い集中力を欠き怪我をする危険性があるからです。叱る必要があると判断した時はコーチが行います。コーチに任せてください。

2. ラグビープレーの向上を目指し、将来日本代表選手を輩出することを目的とした営利団体ではなく、あくまでもスクール理念・指導方針にある、モラルの向上、ルールマナーの教育、最終的には「人間力の向上」を学ぶ事がスクールの主旨です。

3. スクール指導員をはじめスタッフ、事務局も皆さんと同じ、スクールに通わせている「保護者」または「元保護者」です。

道具を倉庫からグラウンドに運ぶトラック当番、夏場の本部テントはり、水の準備、駐車場当番、堤防の草むしり等、子供たちが安全にラグビーを楽しんでもらう為に、「ボランティア」で活動しています。

保護者の方々には、セルフチェックシート・夏場の熱中症対策として子供たちに氷を持たせて下さい。また、年始のもちつき・摂南大学で行われる寝屋川ラグビーフェスティバルでの豚汁作りは、6年生の保護者を中心にご協力願います。

寝屋川ラグビースクールの指導員も皆さんと同じ保護者でありボランティアで運営しています。保護者の皆様のご協力をお願い致します。